

和歌山病院での実習を終えて



釜野 聡平

今回、第三内科での実習の一環として和歌山病院で実習させていただきました。実習では主に、結核、呼吸管理、胸部レントゲンについて教えていただきました。

結核については実際の結核病棟の様子や管理の仕方などを見学させていただき、教科書だけでは見えてこなかった部分を学ぶことができました。呼吸管理のセミナーでは、患者さんが実際につけるマスクを装着させていただき、患者さんが感じる負担を体験させていただきました。胸部レントゲンのセミナーでは、私たちに考えさせる形式のセミナーで、南方先生が辛抱強く私たちが答えに辿り着くまで待ってください、今まで自分が分かったつもりでいたことを痛感させられました。今までの自分の勉強の仕方の問題点に気づくことができる良い機会となりました。セミナーの最後には、実際の患者さんの胸部レントゲン写真から異常箇所を指摘できるようになり、得た知識が身についていると実感できました。

今回の実習は、呼吸器に関する知識を得ることだけでなく、自分の頭で考えるということ強く意識するきっかけとなりました。第三内科での実習が始まってすぐ和歌山病院での実習があり、呼吸器に関する基礎的なことを丁寧に教えてくださったので、その後の大学での実習も実りが多いものとなったと思います。特に胸部レントゲンが今までよりも異常が読めるようになったと感じています。またブロンコ体操のおかげで気管支の位置関係が立体的に覚えられていたので、気管支鏡検査でもあまり混乱することがなくて勉強しやすかったと思います。

2日間という短い期間でしたがとても充実した実習をさせていただきました。今回の実習を通して指導してくださった先生方を初め、病院関係者の方々には本当に感謝しています。和歌山病院で学んだことを忘れずにこれかたも実習に臨もうと思います。2日間ありがとうございました。